

広島県

広島市退職校長会

結成 平成2年10月30日

本会は、平成2年に広島県退職校長会から分離独立して結成した組織である。

この会の目的は、会員相互の親交と福祉増進を図るとともに、会員の研修及び教育の振興に寄与することにある。

会員は、広島市に在住又は広島市公立小・中学校の退職校長でこの会の趣旨に賛同した者による。会員は、現在、663名である。

全体組織としては、会長、顧問（2名）、監査（2名）を置いている。組織の運営は、本部役員会、代表者会、及び区会（9区会）、委員会（5委員会）によって行っている。

「本部役員会」は、会長、副会長（4名）、事務局長及び幹事（5名）で構成している。

「代表者会」は、本部役員（11名）、区会長（9名）、委員長（5名）で構成し、総会に次ぐ議決機関である。

「区会」は、9つの区会からなり、区会の活動は、退職校長会の活動方針を具現する場である。各区会では現職校長会との地区懇談・懇親会を開催するなどの行事を行って連携を深め、学校等への教育支援や教育関係行事への協力・参加をしている。

「委員会」は、叙勲、広報、福祉、研修及び教育支援の5委員会を設けている。

・叙勲委員会（委員数19名）は、会員の叙位・叙勲申請の手続きの援助や説明会を行っている。また、別に春秋叙勲候補者推薦委員会を設け、この委員会の答申に基づいて、会長が毎年、市教育委員会へ候補者を推薦することとしている。

・広報委員会（委員数9名）は、本会の活動情報の発信や活動交流の場として、年3回の会報を発行している。A4判、4～5ページ、平成27年度は75・76・77号を発行する予定である。

・福祉委員会（委員数9名）は、会員の親睦・福祉の増進を図るための行事として一泊研修旅行、囲碁大会、ビヤガーデンの夕べ等を企画・実施している。

・研修委員会（委員数9名）は、会員相互の研修及び中立健全な教育世論の喚起を図るための講演会、市内の企業・施設めぐり、ひろしま探訪などを企画・実施している。

・教育支援委員会（委員数18名）は、教育振興に寄与するための教育支援活動を計画・実施する。教育支援者リストや実践事例集を作成し学校・公民館等へ配付したり、学校等の要請に応じて教育支援を行ったりしている。この教育支援活動の実績は、年間延べ約900回である。



平和記念公園内の「原爆の子の像」